

会 議 報 告 書

会議名	令和２年度第１回 三郷市地域包括支援センター運営協議会		
日 時	令和２年６月２２日（月） 午後１時３０分～２時４０分	場 所	健康福祉会館５階研修室
次 第	１．開会 ２．新委員・事務局職員紹介 ３．議事 （１）審議 ・三郷市地域包括支援センター職員の変更等 について【資料１－１】～【資料１－３】 （２）報告 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼令和２年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画（市）【資料２】 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼令和２年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画（センター）【資料３】 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業実績報告【資料４】 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業収支報告【資料５】 ・令和元年度中に対応した地域の特徴的な事例 概要【資料６】 ４．その他（連絡事項等） ５．閉会		
出席者	【会 長】 谷口聡 【委 員】 板垣昭代、鈴木昌弘、小林真人、須藤政次、清水美代子、吉村節子、中村公三郎、関根勲、松本博子 【地域包括支援センター】 長島所長（みずぬま）、樋口所長（早稲田）、矢口所長（ひこなり北）、石本所長（みさと中央）、佐藤所長（みさと南）、入澤所長（しんわ） 【事務局】 妹尾安浩（福祉部長）、横田隆宏（福祉部副部長）、原山千恵（長寿いきがい課長）、吉井馨（長寿いきがい課長補佐兼長寿いきがい係長）、元井隆幸（同地域包括係長）、八巻絢子（同 主査） 【傍聴人】 ０人		

●審議事項における確認事項

議事

（１）審議

- ・三郷市地域包括支援センター職員の変更等 について・・・・・・・・承認

（２）報告

- ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼
令和２年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画（市）・・・・承認
- ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼
令和２年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画（センター）・・・・承認

・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業実績報告・・・・・・・・承認 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業収支報告・・・・・・・・承認 ・令和元年度中に対応した地域の特徴的な事例 概要・・・・・・・・承認 (3) その他・・・報告	
令和2年度第1回三郷市地域包括支援センター運営協議会 議事内容	
1 開会（司会：原山課長）	
○妹尾部長あいさつ ○谷口会長あいさつ	
2 新委員・事務局職員紹介	
○小林委員あいさつ ○地域包括支援センター（以下、「包括」）の所長紹介 ○事務局職員紹介	
司会(事務局)	本日は傍聴人なし。以後の進行を谷口会長にお願いします。
(1) 審議	
・三郷市地域包括支援センター職員の変更等 について【資料1－1】～【資料1－3】 （非公開）	
承認	
(2) 報告 ・令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼令和2年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画（市）【資料2】	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	【資料2】説明
会長	この件に関して、意見や質問はあるか。
清水委員	認知症簡易チェックサイトについてホームページから見つけ難いように感じたがいかがか。
事務局	市のホームページでこの文言を検索ワードに入力してもらえれば該当のページにリンクするように設定している。
清水委員	ある程度このことを知っている人でないと繋がっていかないということか。
事務局	対策として昨年の8月と11月に市民向けのイベント時に啓発を行っている。
清水委員	地域ごとの相談窓口まで繋がるようになっており非常に良いサイトであると感じているが、実際の利用度や効果測定は行っているのか。
事務局	昨年度は年度途中からの開始であったが、開始直後やイベントで啓発を行った月には反響が大きかったようだ。委託業者からは月約300から400のアクセス数と報告を受けているが、アクセス数が減少傾向となっており、改めて啓発活動の実施を考えている。
会長	他に意見や質問のある委員はいるか。

出席委員	(質問・意見なし)
会長	それでは次の報告事項に移る。
令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業評価兼令和 2 年度三郷市地域包括支援センター運営事業計画（センター）【資料 3】	
会長	事務局に説明をお願いします。
事務局	【資料 3】説明
会長	意見、質問等はあるか。
清水委員	2 月後半から新型コロナウイルスの影響で世の中が大きく変わってきていると思われる。計画書に新型コロナウイルスの影響を考慮した記載が少ないようだが、包括としてこれまでどのように対応してきたのか。また今後はどのように対応していくつもりなのか。
会長	みずぬまはいかがか。
みずぬま	包括の事務所がある瑞沼市民センターの会館を閉めていた関係で、来所相談が受けられない状態であり、電話を受けて訪問する形で 5 月末まで対応していた。今回の計画書には新型コロナウイルスの影響について先が見えないことと、全面的に計画が変わってくるところもあり敢えて記載しなかった。今後の会議等についてもどのように運営していくか迷っているところであるが、会議については少ない人数でも広い場所を用意しなければならず、場所の確保の問題も考えられる。
会長	どこの包括も 6 月くらいからの再開となっているのか。ひこなり北はいかがか。
ひこなり北	訪問の件数は減らしていたが、業務自体は通常通り行っていた。外部での活動については市に確認を取りながら当面は行えないという方針で中止にしていた。6/15 を境に市の活動も段階的に再開していることから、7 月からひこなり北で開催する活動については徐々に再開していく予定である。再開にあたっては完全予約制で会場の広さにもよるが参加人数を 5 人ほどに制限した内容に変更を考えている。また市から提供された健康チェックシートや体調管理シートを利用しながら活動していく予定である。法人内でも話し合いを行いながら進めていく。
会長	早稲田は地区サロンとの交流をはかるという目標を掲げているが、地区サロンは動き始めているのか。
早稲田	全てに確認は取っていないが、包括早稲田の事務所建物の階下にある「いこいの家 7 1 7」は 6/15 より午前中のみであるが活動を再開している。
会長	どこも始まったばかりで人数も少なく、今後どうなっていくか分からない状況である。新しい生活様式を取り入れるとなると、これまでとは全く違うやり方になるが、現時点では明確になっていないのだろう。
吉村委員	包括の窓口も閉まっているなかで、介護事業所を休んでいる利用者も結構多い。認知症のかたの場合は進行も早まり、1 人でマスクも着用せずに出かけてしまうケースもある。市としてはこのような状況をどのように考えているのか。
事務局	市のホームページで健康体操をアップする等の対策を取っている。要支援のか

	たについては全員にパンフレットやチラシ等を配布しており、体力の低下を予防するために家の中でもできる軽い運動を紹介している。また配食サービスを利用しているかたについては、業者を通してパンフレットやチラシ等を配布しており、食事の重要性について案内をしている。
みさと中央	人数は限られるが、独居世帯や高齢者夫婦世帯に往復葉書を出して近況把握に努めた。緊急事態宣言解除後は訪問を再開している。
会長	ケアマネジャー、事業所という立場で休んでいるかたの状況把握についてはどうか。須藤委員いかがか。
須藤委員	当事業所では3月中旬までの2週間ほどは、訪問を控えて定期的に電話をかけることで状況把握に努めていた。しかし電話のみでは状況把握が不十分であったので、その後は通常通りに訪問を行っている。5%から10%のかたが家族もしくは本人の意向により主に通所サービスを控えていた。その後、緊急事態宣言解除後の6月初頭から再開するかたが多かったが、現在でも数名のかたは再開に至っていない。
会長	民生委員の活動としてはどうか。中村委員いかがか。
中村委員	社会福祉協議会から絆創膏等の配布物を受け取ったが、対面で配布しなくても良いと言われていた。しかし自分は対面で短時間だけ言葉を交わして渡したが、それで良かったと思っている。
会長	今後、第2波が来た場合には大きく変わってくると思われる。とりあえずは今回の計画を念頭に動き始めるということではよろしいのではないか。他に質問はあるか。
出席委員	(質問・意見なし)
会長	それでは次の報告事項に移る。
令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業実績報告【資料4】	
会長	事務局に説明をお願いする。
事務局	【資料4】説明。
会長	この件に関して、意見、質問等はあるか
清水委員	各包括のデータを見ていくと全体的に包括の会議が多い。中でもみさと南の法人主催の会議が非常に多い。介護予防ケアマネジメントや地域の活動、社外の研修や会議等で多忙な中で、法人主催の会議がなぜこれほど多いのか。
みさと南	法人でソーシャルワーカー部門を纏める副担当をしている。夜間の会議も多く、本部から訪問に出掛けて本部に戻るといったこともある。訪問と会議の合間を縫って総合相談や介護予防ケアマネジメントをやっている。不要不急の会議ではないので、今後は職場内での分担が必要だと考えている。法人の仕事は包括とも関連があり、地域で起こっていることを法人にフィードバックし、法人に包括を受託する意味を理解してもらう目的もあるため、必要な会議だと認識している。 昨年度、委託の割合が増えているが、この理由としては職員が2人退職したこ

	とに加え、新たに配属された職員が新卒や包括未経験者で、ケアマネジメントを割り振れなかったため、方々に何とかお願いして委託で対処したことによる。
会長	他に質問はあるか。
出席委員	(質問・意見なし)
会長	それでは次の報告事項に移る。
令和元年度三郷市地域包括支援センター運営事業収支報告【資料5】	
会長	事務局に説明をお願いする。
事務局	【資料5】説明
会長	この件に関して、質問・意見はあるか。
吉村委員	ひこなり北とみさと中央について法人への繰出金の内容はどのようなものか。
みさと中央	入居している建物の特徴で包括と通所介護、居宅介護支援事業所で光熱費等を案分しており、その請求が年度末に来ている。法人への繰出しについて例年は50万円ほどであるが、昨年度は報告書提出間際に別に約120万円の請求が来たため金額が上がっている。
ひこなり北	経理の管理であり詳細は不明である。
しんわ	経理の管理であり詳細は不明である。
会長	他に質問はあるか。
出席委員	(質問・意見なし)
会長	それでは次の報告事項に移る。
・令和元年度中に対応した地域の特徴的な事例 概要【資料6】 (非公開)	
承認	
会長	以上で審議及び報告事項を全て終了した。進行を事務局にお返しする。
4. その他(連絡事項等)	
司会(事務局)	○地域包括支援センターの業務継続計画策定中。各センターで作成したものを元に市とセンターで今後の検討を進めていき、次回報告する予定である。 ○令和2年4月1日現在の三郷市内の日常生活圏域ごとの高齢化率一覧を配付。 ○本日の報酬について。 ○次回は11月16日(月)の開催予定。 本日の次第の予定を全て終了した。閉会の言葉をいただく前に、平成30年11月から委員を務めていただいた関根委員が退任することになった。それでは関根委員から一言お願いしたい。
関根委員	82歳となり老人クラブの理事を降りることもあり、今回をもって地域包括支援センター運営協議会の委員を退任させていただく。これまでについて感謝申し上げますとともに、今後ともよろしく願い申し上げます。
5. 閉会	
○板垣副会長あいさつ	